

平成22年度第1回秋田大学経営協議会議事要旨

日 時 平成22年6月2日(水)
(第1部) 13:30~15:00
(第2部) 15:05~15:35

会 場 本部管理棟3階 第1会議室

出席者 吉村学長(議長), 小笠原, 小山田, 銭谷, 根岸, 平山, 渡邊, 對馬,
後藤, 新開, 茆原, 熊田各委員

監 事 渡部, 小林各監事

陪 席 吉岡, 井上各理事, 池村教育文化学部長, 本橋医学系研究科長, 西田工学資
源学研究科長, 大好附属図書館長

- ◎ 議事に先立ち, 吉村学長からあいさつと構成員の紹介が行われた。
また, 秋田大学経営協議会規程第4条第3項に規定する議長の職務代行者に對馬理事が指名された。

【第1部】審議・報告事項

議 事

1. 平成21年度第6回経営協議会議事要旨の確認
平成21年度第6回経営協議会議事要旨が確認された。
2. 審議事項
 - (1) 平成21事業年度に係る業務の実績及び中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書について
熊田学長特別補佐から資料により説明があり, 了承された。
また, 今後本件について意見等があれば熊田学長特別補佐に連絡願いたい旨の発言があった。
 - (2) 平成21年度決算について
後藤理事から資料により説明があり, 了承された。
なお, 決算関係資料については6月10日までに文部科学省へ報告することとなっており, 現在行われている監査法人とのやり取りの中で若干の数値の変更の可能性があると及び決算関係資料については学長と相談の上, 本省への報告の手続きをすることが了承された。
 - (3) 平成23年度概算要求について
学長から資料により説明があり, 学長一任により, 資料で示している要求事項の精選し概算要求することが了承された。
 - (4) 第二期中期目標期間の財政計画について
後藤理事から資料により説明があり, 了承された。
なお, 学外委員から以下のような意見があった。

・大学改革促進係数の「△1.4%」（毎年約9,000万円の減額）は、毎年度同係数が適用される流れになると、大学にとっては非常に厳しく大きな痛手になると思う。この状況を注意して見ていかなければならない。

- (5) 国立大学法人秋田大学職員給与規程等の一部改正について
對馬理事から資料により説明があり、了承された。
- (6) 国立大学法人秋田大学職員の育児休業等に関する規程等の一部改正について
對馬理事から資料により説明があり、了承された。
- (7) 国立大学法人秋田大学における教育系職員の任期に関する規程の一部改正について
對馬理事から資料により説明があり、了承された。
- (8) 国立大学法人秋田大学職員安全衛生管理規程の一部改正について
對馬理事から資料により説明があり、了承された。
- (9) 秋田大学国際交流会館新館（仮称）新営について
後藤理事から資料により説明があり、了承された。
- (10) 平成22年度工事計画について
後藤理事から資料により説明があり、了承された。
- (11) 経営協議会学外委員からの秋田大学学長選考会議構成員選出について
学長から、国立大学法人秋田大学学長選考会議に、経営協議会から5名の学外委員選出しなければならないことの説明があり、審議の結果、小笠原委員、小山田委員、銭谷委員、平山委員、渡邊委員の5名が学長選考会議構成員に選出された。

3. 報告事項

- (1) 役員の報酬について
学長から資料により、報告があった。
- (2) 国立大学法人等の役員の報酬等及び職員の給与水準の公表について
對馬理事から資料により、報告があった。
- (3) 第二期中期目標・中期計画について
對馬理事から事前に学外委員には郵送にて第二期中期目標・中期計画を送付している旨報告があり、本件に関するこれまでの経過及びホームページでの公表についての説明があった。
- (4) 平成21年度秋田大学マニフェスト自己評価報告書について
對馬理事から資料により、報告があった。

- (5) 平成22年度秋田大学マニフェストについて
学長から資料により、報告があった。

4. その他

- (1) その他
学長から資料により、国大協関係の情報提供及び報告があった。

【第2部】特定課題に関する意見交換

テーマ：「医学部附属病院の経営戦略について」

荏原学長特別補佐（附属病院担当）から資料により附属病院の経営状態及び経営戦略についての説明があり、学外委員から以下のような意見が出された。

- ・地域の中心病院として大学機能を十分発揮できるよう、他の病院等と期間を決めてタイアップするべきではないか。
- ・医師不足といわれているが、いかに優秀な医師が地元に着定できるかが大きな問題だと思う。9年10年経つと県外に医師が流れていく傾向にあると思う。医師が地域に着定するのに大事なことは指導員の力（魅力・実力）であると考えている。そういう人材（指導員）をいかに育てていくか。また、女性医師が現場でどれだけ活躍できるようにするかも大事であると考えている。
- ・附属病院が大学の中で重要な役割を果たしていることはわかったが、一般的に見ると大学の中に異質な部局があるというように見えてしまう時がある。地域連携も大事だが、大学の中の附属病院という位置付けを考えれば、大学内の他の部局との連携も大事である。医学部・附属病院は大学を引っ張るリーダーとして、大学への働きかけや配慮がもっと全面に出れば大学全体にとって望ましいのではないか。

◎その他連絡事項

- ・次回の経営協議会については、7月27日（火）、7月30日（金）及び8月2日（月）の3日間のうち、いずれかの日に調整させていただく旨連絡があった。

以上